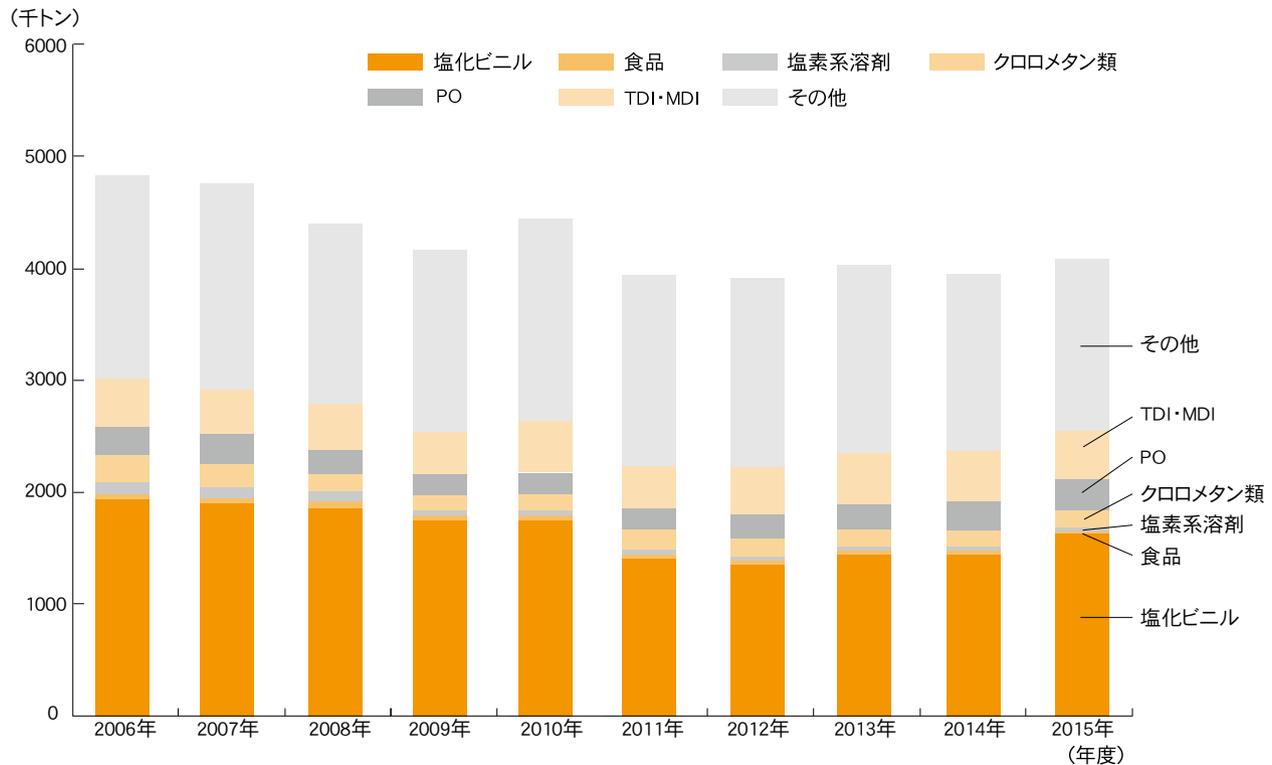


塩素の需要推移



(単位：千トン)

用途部門	年度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
塩化ビニル		1,938	1,897	1,818	1,732	1,713	1,400	1,346	1,433	1,434	1,613
食品		51	47	46	42	38	35	38	36	29	23
塩素系溶剤		106	98	95	56	61	58	48	51	47	54
クロロメタン		223	238	188	136	157	183	161	155	172	193
PO		236	249	222	218	211	198	197	224	226	255
TDI・MDI		388	387	344	352	418	356	419	444	446	395
その他		1,871	1,860	1,629	1,667	1,766	1,733	1,715	1,674	1,601	1,607
合計		4,813	4,776	4,342	4,203	4,364	3,964	3,924	4,017	3,955	4,140

注1) 副生塩酸、輸入塩素誘導品を含む。

注2) PO：プロピレンオキシド、TDI：トリレンジイソシアネート、MDI：ジフェニルメタンジイソシアネート

この塩素需要は9頁の塩素発生量に、注1の通り、副生塩酸と輸入塩素を加えた塩素の総需要量を需要項目別にまとめたものです。

塩素需要の特徴的なことは、塩化ビニル向けが全体の約39%を占めていることです。さらに、主にウレタン樹脂原料となる、PO、TDI・MDI向けにも約16%が使用されており、これらの製品向けで全需要の半分以上を占めています。

ここ数年では、塩化ビニル向け需要の割合が低下していましたが、2015年度は全需要の40%程度に回復しました。

一方、TDI・MDI向けの需要は減少し、環境規制などの問題などから塩素系溶剤、クロロメタン類向け需要は近年低い水準で推移しています。